

実績確認概要書

平成 25 年 2 月 18 日

ビューローベリタスジャパン株式会社

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	A重油ボイラーから都市ガスボイラーへの更新プロジェクト
承認番号	JCDM-PJ0069
排出削減事業者名	有限会社 星太染工
排出削減共同実施事業者名	株式会社 FT カーボン (その他関連事業者名：株式会社 日本サーモエナー)
事業実施場所	有限会社 星太染工 (住所：群馬県桐生市東 3-5-3)
事業の概要	A重油ボイラー 3 台の都市ガスボイラー 2 台への更新を実施する。 ボイラーの高効率化による燃料使用量の削減及び低炭素燃料へのエネルギー転換によって、CO2排出量を削減する。
排出削減量の計画	2008 年度は 54 tCO2/年、2009~2012 年度 130 tCO2/年 (事業実施期間合計 574 tCO2)
国内クレジット認証期間	開始予定日 2008 年 11 月 1 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 001 「ボイラーの更新」

2. 本実績確認の対象期間

2011 年 12 月 29 日～2012 年 7 月 31 日 (第 3 回目実績報告)

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	62 tCO2
-------	---------

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
<p>排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること</p>	<p>1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 第3回目の実績報告であるため、該当なし。</p> <p>2) 対象期間中の設備稼働確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 承認排出削減計画通りに、A重油ボイラー3台を都市ガスボイラー2台へ更新していることを、現地訪問の際に確認した。 ● 本実績報告期間において導入設備が稼働していることを、現地訪問時の設備の確認、本実績期間における都市ガスの請求書により確認した。 <p>その他、本事業に承認排出削減事業計画から重要な変更がないことを確認した。</p>
<p>排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること</p>	<p>1) モニタリング方法の確認 都市ガス伝票の確認、事業者への質問等により、排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定していることを確認した。</p> <p>2) 活動量の正確性 活動量は使用していない。 承認排出削減事業計画に従って都市ガス使用量の請求書を基に集計・算定されており、その結果が正しいことを確認した。</p> <p>3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 使用されている単位発熱量、排出係数等が、排出削減方法論（別表）及び承認排出削減事業計画通りであることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量の算定結果を測定結果と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認した。</p>
<p>算定期間が2013年3月31</p>	<p>本実績確認の対象期間は、2011年12月29日から2012年7</p>

日を超えないこと	月 31 日までであり、排出削減量を算定した期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないことを確認している。
----------	--

6. 特記事項

確認した排出削減量に相当する省エネルギー量について、原油換算 0.4 KL であることを確認した。

以上